



若者に向けた南部煎餅の魅力アップのアイデアを発表する久慈高長内校の生徒

定時・通信制の探究披露 東北13校

盛岡

杜陵高(三田正巳校長、生徒687人)は23日、盛岡市上田の本校で東北地区定時制・通信制探究発表会を開いた。交流を通じ、多様な視点から物事を捉え、思考する力を高めようと初開催。生徒は互いの発表を通じて学びを深めた。

青森のリンゴの魅力発信や東日本大震災を経験していない世代向けのポスター、東北の歴史などに関する発表もあった。学校行事や校内会議でコーヒーを振る舞う「とりよんカフェ」について伝えた杜陵通信制2年の馬目玲奈さん、中

杜陵高(三田正巳校長、生徒687人)は23日、盛岡市上田の本校で東北地区定時制・通信制探究発表会を開いた。交流を通じ、多様な視点から物事を捉え、思考する力を高めようと初開催。生徒は互いの発表を通じて学びを深めた。

6県13校から生徒、教員ら約80人が参加。久慈高長内校2年の林千仁さん、北田優さん、日向歩さんは「南部せんべい魅力化計画」と題して発表した。

3人は、南部煎餅は久慈地域の食文化である一方、素朴で地味、厚くてかたいなどの理由から「同世代で食べる人はほとんどいなかった。」

軽米あゆかさんは「県外の生徒とも交流でき、発見がある。カフェの発展にもつなげたい」と関心を高め